

りそな 経済フラッシュ

(日本1月景気ウォッチャー調査)

◎注意事項をよくお読み下さい

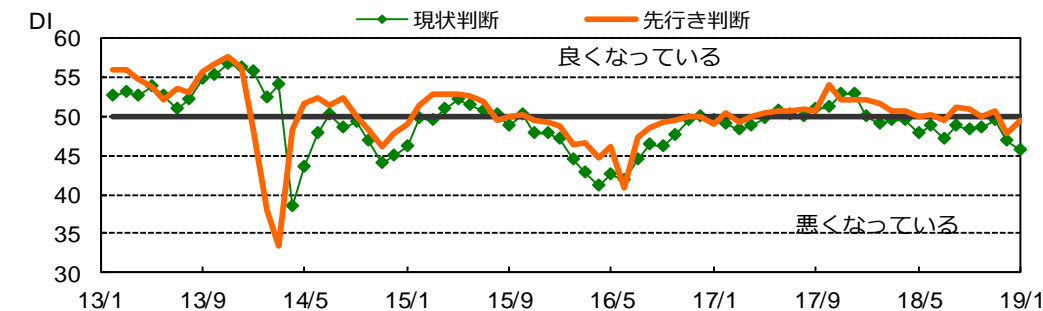


〇概況

- ◆ 1月景気ウォッチャー調査、現状の基調判断は維持
- ◆ 現状判断DIは家計や製造業の弱さが目立ち2カ月連続で悪化
- ◆ 先行き判断DIは50割れも金融市場の落ち着きもあり改善

- ✓ 景気の現状に対する判断DIは前月差1.2ポイント低下の45.6と2か月連続で悪化した。家計動向関連DIや製造業DIの落ち込みが目立つ一方、非製造業DIや雇用関連DIが上昇した。
- ✓ 2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは49.4と前月に引き続き50割れとなったが、金融市場の落ち着きもあり、12月と比較して総じて改善した。
- ✓ 現状では、「暖冬のため暖房器具の売上は伸びず、景気は良くない」(中国：家電量販店)や「インフルエンザの流行で外出を抑えるように促す報道を、恨みたくなるような客足である。例年以上に冷え込んでいる」(甲信越：一般レストラン)などのコメントがみられた。先行きについては「東京オリンピックや改元の周辺事業や広告受注が見込めそうである」(南関東：広告代理店)などのコメントがみられた。
- ✓ 1月の景気ウォッチャーの見方は、「緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、海外情勢等に対する懸念もある一方、改元や大型連休等への期待がみられる」とまとめられた。前月触れられていた先行きの「金融資本市場の動向に対する懸念」は削除された。

【景気ウォッチャー調査の推移】



出所：IN情報センター

【景気の現状判断DI(季節調整済)】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	前月差
合計	48.7	48.3	48.6	49.5	46.8	45.6	▲1.2
家計動向関連	47.4	46.8	47.9	49.3	46.6	44.6	▲2.0
小売関連	46.8	47.2	47.0	47.1	45.3	42.5	▲2.8
飲食関連	46.7	46.0	49.0	51.1	47.2	44.2	▲3.0
サービス関連	48.4	45.9	48.8	52.1	48.6	48.5	▲0.1
住宅関連	49.6	48.1	50.9	54.1	49.2	47.3	▲1.9
企業動向関連	50.5	50.3	48.8	48.5	46.1	46.6	+0.5
製造業	49.7	47.9	47.8	48.1	45.7	43.4	▲2.3
非製造業	51.2	52.1	49.7	49.2	46.8	49.4	+2.6
雇用関連	52.9	53.8	52.2	53.3	48.8	49.9	+1.1

【景気の先行き判断DI(季節調整済)】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	前月差
合計	51.1	51.0	50.0	50.8	47.9	49.4	+1.5
家計動向関連	50.9	50.5	50.2	51.0	48.0	50.0	+2.0
小売関連	50.7	50.3	49.7	50.1	47.9	49.6	+1.7
飲食関連	47.4	48.9	49.2	52.2	44.4	49.7	+5.3
サービス関連	51.8	51.1	51.2	52.0	49.1	51.0	+1.9
住宅関連	52.0	51.6	51.3	52.8	48.2	48.9	+0.7
企業動向関連	51.1	51.7	48.6	49.0	46.3	46.8	+0.5
製造業	51.0	51.0	48.1	48.1	44.2	45.2	+1.0
非製造業	51.0	52.2	48.9	49.9	47.8	48.0	+0.2
雇用関連	52.5	52.3	51.5	53.1	49.8	51.3	+1.5

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。